



| | | |
|-----------------|---|--|
| ミカワコケシノブ | <i>Hymenophyllum mikawanum</i> (Seriz.) Seriz. | 絶滅危惧 I 類 |
| (環境省:絶滅危惧 I B類) | | コケシノブ科 |
| 選定理由 | 生育地が少ないうえ、川岸の岩場、樹上という不安定な場所に生育するため、環境変化による種の存続への圧迫に絶えずさらされている。 | 写真(荻山恒弘)  |
| 形態の特徴 | 常緑性のシダ。ホソバコケシノブに似るが、孢子嚢群が葉身の先端に穂状につき、包膜の辺縁には歯牙がある。 | |
| 生態的特徴 | 湿った岩上・樹幹上に生育する。 | |
| 分布状況 | 愛知県・岐阜県に分布する。岐阜県では県中央西部に生育地がある。 |  |
| 減少要因 | 山林開発、治山工事、自然災害などによる生育地の消失。周辺地域の開発による乾燥化。 | |
| 保全対策 | 生育地や上流部の山林開発を控え、環境変化を防止する。 | |
| 特記事項 | 外見がよく似た近縁種が多く、孢子を形成する時期でなければ他の種と混同されやすい。今後の詳細な調査の積み重ねにより新たな生育地が発見される可能性もある。 | |
| 参考文献 | | |

文責:村瀬正成